

文京区アカデミー推進計画策定協議会

第2回 スポーツ振興分科会 次第

日時：平成22年5月31日（月）18:30～20:30

於：文京シビックセンター21階 2101会議室

- 1 開会
- 2 はじめに
- 3 文京区の特徴や課題の再検討
- 4 解決への方向性の検討
- 5 閉会

《配布資料》

【資料スポーツ第4号】第2回分科会の進め方について

【資料スポーツ第5号】文京区アカデミー推進計画策定協議会 第1回スポーツ振興分科会 作業結果

第2回分科会の進め方について

I 第2回分科会のテーマ

- (1) アカデミー推進計画に関わる文京区の特徴や課題、解決の方向性を確認・再検討する。

II 本日のプログラム

時間	内容	進行役
18時30分 ～ 18時40分	1. 開会・挨拶 2. はじめに (1) 本日のプログラムの説明 (2) 質疑応答	事務局
18時40分 ～ 20時30分	3. 文京区の特徴や課題、解決の方向性の再検討 (休憩10分含む)	座長
20時30分	4. 挨拶・閉会	事務局

III 文京区の特徴や課題、解決の方向性の再検討

分科会では、参加メンバーの主体的な話し合いを促すため、座長の司会進行のもと、以下のような流れで検討を行います。

STEP 1 文京区の特徴や課題について、資料説明を行います【時間の目安：10分】

- 第1回分科会での検討内容をまとめた資料第5号について、事務局より説明を行います。

STEP 2 文京区の特徴や課題について確認・再検討を行います【時間の目安：30分】

- 文京区の特徴や課題について、追加すべき点等を確認・再検討します。意見は、事務局でポストイットに書き取り、模造紙上にグループ分けを行います。

STEP 3 解決の方向性について確認・再検討を行います【時間の目安：50分】

- 課題等に対する解決の方向性について、追加すべき点等を確認・再検討します。意見は、事務局でポストイットに書き取り、模造紙上にグループ分けを行います。

STEP 4 議論の内容のまとめを行い、分野別計画に盛り込む方向性を確認します

【時間の目安：10分】

- 座長が本日の検討の成果を総括し、分野別計画に盛り込む方向性を参加メンバー全員で確認、考えを共有します。

Ⅳ 第3回分科会の検討テーマ

- ◆ 第3回分科会は、本日お出しいただいたご意見を参考に、成文化した各分野別計画の目標・方針の検討を行います。

以上

文京区アカデミー推進計画策定協議会 第1回スポーツ振興分科会 作業結果

日時：平成22年4月19日

午後18:30～20:30

場所：文京シビックセンター21階 2010会議室

第1回スポーツ振興分科会では、スポーツに関する特徴や課題、課題に対する解決の方向性について、委員の方から意見を頂き、さらに付箋紙と模造紙を使って整理を行いました。

第1回分科会での作業結果を、下記の表【スポーツに関する特徴や課題】と【課題に対する解決の方向性】に整理しました。【特徴や課題】の意見と、【解決の方向性】の意見との対応がなるべくわかりやすいように表を整理しています。

【スポーツに関する特徴や課題 1】

分類見出し		委員意見
活動拠点	不足している	活動する拠点が無い
		スポーツ複合施設が無い
		無料の大きな公園が無い
		地域交流館の数が少ない
	充実している	面積の割には屋外・屋内スポーツ施設が充実している
		民間スポーツクラブが多い
地域密着型のスポーツ事業が多い		
活動拠点へのアクセス	不便である	運動施設へのアクセスが悪い
		各施設の立地
	便利である	山手線の中という便利さがある
		交通の利便性から近隣区でも活動できる
指導者の不足	指導者がいない	
	指導者不足	
	スポーツ指導員の中高齢者が多い	
	新規参入指導員が少ない	
	受講者の高齢者が多いので、中高齢指導員でもOK	
利用者の固定化	参加者が固定化してきている	
	参加者にリピーターが多い	
	新規加入者が少ない。団体が自然減、縮小化していく	
	小さな集団での活動になるため目的外へとつながりにくい	
	高齢者のスポーツ団体が多い	
	公立中学校への部活動のかたより	
生徒数の減少		

【課題に対する解決の方向性 1】

分類見出し	委員意見
指導者の育成	指導者の育成(出来る人に声をかける) 区内大学生の指導者としての受入れ
指導者の活動の場の整備	若手指導員が参入する気になる魅力!!
施設の使いやすさ	行いやすい時間帯を設定する ビーグル号の充実【特徴・課題より移動】

※色のつけてある欄は、区の特徴、良い点と考えられる意見をさしています。

【スポーツに関する特徴や課題 2】

分類見出し		委員意見
活動の選択肢や情報の不足		やりたいスポーツがない
		一緒にやる仲間がない
		時間がとれない
		気軽に出来ない
		種目が少ない
		情報がない
		大学との連携がわからない
スポーツに対する意欲	意欲がある	地域活動団体(地区対)ではスポーツ意識は高い
	意欲がない	スポーツ活動していない人が50%近くいる
障害者がスポーツをする環境が不足		障害者(中途障害者を含む)のスポーツ施設がない
		施設と介助者が不足している
		車椅子利用者のスポーツ施設がない
		障害者のスポーツクラブが本区では育てにくい
		障害者のスポーツ活動は主として北区の施設を利用している
		障害者のスポーツの介助者の要請が必要
		障害者のための校庭開放の指導員が多い
		肢体不自由校がなく卒業者がいない
		知的障害、肢体不自由者の特別支援学校がない(筑波大付属を除く)
		障害児の教育は北区が中心で行っている
	パラリンピックの選手の養成のための施設は今後どうするのか	

【課題に対する解決の方向性 2】

分類見出し		委員意見
情報発信		情報発信の手段を工夫する
		広報手法の見直し。年代よりの使い分け
相談窓口		現在のスポーツ施設活動等に関するPRの充実
		気軽に相談できる窓口をつくる
参加促進		スポーツ人口を増加させるための手段を強化 中学生・高校生への各スポーツへの参加促進
ウォーキングの進め		ウォーキングの進め
		歩育
		生活習慣病対策として 高齢者対策として
障害者のスポーツ振興		障害者実態をつかんで今後10年でどう取り組むか考える【特徴・課題より移動】
		障害児のために環境の整備が必要【特徴・課題より移動】
		障害者スポーツの拠点をつくる
		障害者スポーツクラブを創設する。(例 サッカー)
		障害者スポーツの指導者、介助者を育成する。
		大学の先生から障害者スポーツの指導者の育成をお願いする
		筑波大特別支援学校の協力を仰ぐ。 障害者の親の組織に働きかけたい
他団体・機関との連携		大学生(大学)とのコラボレーションの活性化
		区内大学サークルへの協力要請
		部活動の夏合宿を大学施設で
		北区との連携を図る。運動場、プールの利用
		東京都、全国のスポーツ組織に加入する 各地区、各団体の問題点を共有化する

以上